



学校だよりNO24

令和4年10月21日

児童数 483人

薫っ子Ⅱ



文責 校長 古川 次男

命を守る大切な学習

19日（水）の2校時目に低学年、3校時目に中学年、4校時目に高学年で交通安全教室を実施しました。今回は、講師として自動車学校のみなさんにお世話になりました。低学年は正しい歩行について、中・高学年は正しい自転車の乗り方について学びました。

命を守る交通安全教室は、本校では春と秋の年2回実施しています。市街地にあり、交通量の多い道路が学校の周囲にある本校では、大切にしたい学習です。



自転車の点検の仕方については、春の交通安全教室でも学習していたので「ぶたはしゃべる」はほとんどの子が知っていました。自分の命を守る自転車ですから、普段から点検を心がけたいものです。

陥りがちな事例として、交差点での巻き込み事故、見通しの悪い交差点での事故、ヘッドホン等をしていての車への気づきにくさなどを実際に見せていただきました。また、それぞれについて正しい運転の仕方

も教えていただきました。一人一人が実践できるようにしてほしいと思います。

気になるのは、登校時です。事情があって車で子どもを送ってこられる方があります。時間帯によっては、正門前に4、5台が停車するようなことがあり、その側方を通過していく車は、様々な運転がみられます。注意深くゆっくりと通過する車もあれば、そのようなことにお構いなしで制限速度ぎりぎりでも通過していくような車もみられます。そのような車をみると、とても心配になってしまいます。また、信号機や横断歩道でないところを横断して、交通事故にあいそうになった児童もみられるようです。

通学や通勤の時間帯は、急いで車を運転したり、歩いたりしているので、どうしても注意力が不足しがちです。そういう時に限って、交通事故は起きるものだと思います。交通安全教室をきっかけとして、子どもたちには、正しい道路の歩き方や自転車の乗り方を指導しています。ご家庭でも、お子様と一緒に歩いたり、自転車に乗ったりして交通ルールについて確認していただくと助かります。

